

# 取扱説明書B

接続機器名/ **BTF110**  
パスキー/ **0000** (ゼロを4つ)

# BTF 110

Bluetooth FMトランスミッター

※本製品はBluetooth対応の携帯電話/スマートフォン/ミュージックプレイヤーなどと接続してお使いいただけますが、本書の中では特に記載のない限り、これらのBluetooth接続端末を「接続機器」もしくは「携帯電話」と表記しております。

ペアリングの手順(一般的なスマートフォンの場合)						
	手順①	手順②	手順③	手順④	手順⑤	手順⑥
接続端末	電源オン状態	設定からBluetooth選択 BluetoothをONにする	更新/サーチ Bluetooth周辺機器検索	検索結果表示 使用可能機器リスト BTF110	機種番号を指でタップ 機器認証	接続完了表示 リストに[接続]の表示
本機	電源に接続	電源オン	ペアリングモード			スタンバイモード
			Bluetoothマーク点滅			接続機器名が表示
<p>①本機と接続端末(Bluetooth対応機種/電源オン状態)を手元(30cm以内の距離を推奨)に置いて準備します。</p> <p>②スマートフォンの場合、[メニュー]や[アプリケーション一覧]から[設定]を開き、[Bluetooth]の項目を選択し、Bluetooth機能を「ON」にします。本機は電源に接続されると自動的にBluetoothマーク(画面左上)が点滅を開始してペアリングモードになります。</p> <p>③本機のペアリングモードは端末が接続されるまで続きます。接続端末側で周辺機器(本機)の検索(サーチ)をします。(例:「メニュー」→「設定」→「Bluetooth」→「BluetoothをON」→「周辺デバイス検索(サーチ/更新)」)</p> <p>④携帯電話の画面にリスト(Android…[使用可能な機器リスト]など、iPhone…[その他のデバイス]など)が表示され、検索が終わるまで待つと「BTF110」がリストアップされます。</p> <p>⑤表示された「BTF110」をタップ(選択)します。 ※接続端末によってはPINキー入力を求められる場合がありますので、その場合パスキー「0000(ゼロを4つ)」を入力します。(プロフィール登録は「ハンズフリー」で行ってください。)*パスキー入力前に「携帯電話の端末暗証番号」を入力を求められる機種があります。この場合は予めお客様が携帯電話機に登録した暗証番号を入力してください。</p> <p>⑥数秒待つと認証が成功するとBluetoothマークの点滅が終わります。同時に「BTF110」の表示が接続機器名の表示に変わり、スタンバイモードになります。携帯電話の画面には「接続」「ペアリング成功」「登録完了」などの表示が出て、Bluetoothアイコンなどが接続中の表示に変わります。 ※iPhoneやスマートフォン以外の携帯電話機の場合では、ペアリング登録の後で別途手動で接続を行う場合があります。その場合はHFP(ハンズフリー接続)で接続してください。 ※失敗した場合は、電源を入れ直し、もう一度ペアリングモードにして登録をお試しください。</p>						

- 接続中の携帯電話が機器の通信範囲(約10m)から離れた場合、接続(リンク)が切断します。通信範囲(約10m以内)に戻れば、自動で再接続を試行します。
- 10m以内に戻っても自動接続しない場合は、携帯電話機側のBluetooth接続機器リストから「BTF110」を選択して再接続を試みてください。
- 携帯電話側でBluetoothをオフにした後、再度Bluetoothをオンにした時は、自動で再接続するか、携帯電話機側のBluetooth接続機器リストから「BTF110」を選択して再接続をします。

ペアリング完了

## アクセサリソケットへの接続

- エンジンOFFの状態でお車のアクセサリソケット内のゴミ、灰等をよく取り除いてください。汚れたまま電源プラグを差し込むと接触不良の原因になります。
- 本製品ならびに接続機器内部の電子回路に影響を及ぼす可能性があるため、本製品を差し込む前にあらかじめお車のエンジンをかけてください。
- 本製品の電源プラグ部分をお車のアクセサリソケットが振動等で抜け落ちることのないよう奥までしっかり差し込み、ディスプレイ部を好みの角度に調節してください。
- 通電するとディスプレイが点灯します。
- ※次回使用時には前回終了した周波数で起動します。
- 脱着する際には、必ず電源プラグ部の根元をしっかりと持ち、アクセサリソケットに対し必ず水平にゆっくり抜いてください。回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。
- ※キーを抜いてもアクセサリソケットの電源が切れない車種の場合、お車から離れる際は必ず電源プラグを外してください。



## メニュー画面の説明

micro SD カードまたは USB メモリ接続時のみ表示されます



- ①メイン画面でダイヤルを長押しして、メニュー画面を開いてください。※約7秒程度操作がないと元の画面に戻ります。
- ②ダイヤルボタンを回すと項目が変わり、ダイヤルボタンを1回押しで選択してください。

### 【フォルダ】

作成されたフォルダの中から再生する楽曲ファイルを選択できます。ダイヤルボタンを押すと決定、長押しで1つ前の画面に戻ります。一定時間(約7秒程度)操作がないと元の画面に戻ります。

### 【ファイル削除】

再生中の楽曲ファイルを削除することができます。「NO」または「YES」を選択し、選択中のアイコンが青く暗転します。ダイヤルボタンを押すと決定します。  
※「YES」を選択して決定すると取り消しできませんのでご注意ください。一定時間(約7秒程度)操作がないと元の画面に戻ります。

### 【再生モード】

再生モードを選択できます。一定時間(約7秒程度)操作がないと元の画面に戻ります。  
[全曲リピート]:メディア内の全ての曲を順番に再生し、全ての再生が終わったら1曲目に戻ります。  
[1曲リピート]:選択した曲を繰り返し再生します。  
[シャッフル]:メディア内の曲をランダムに再生します。

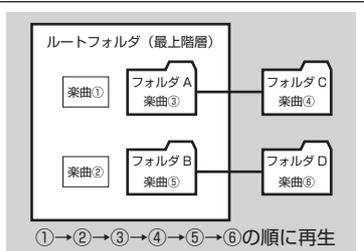
### 【EQ セットアップ】

プリセットイコライザを7種類の中から選択し音質を変更できます。一定時間(約7秒程度)操作がないと元の画面に戻ります。

### 【言語】

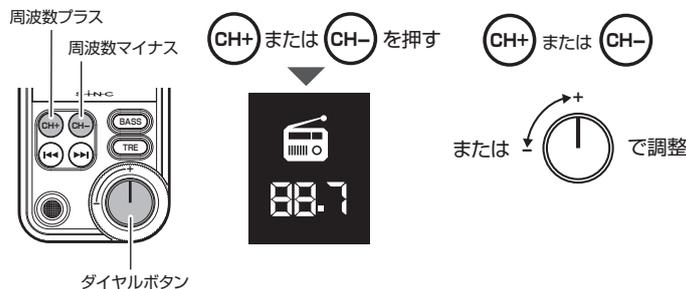
表示する言語を変更できます。一定時間(約7秒程度)操作がないと元の画面に戻ります。

[全曲リピート]時の再生曲順は、ルートフォルダ(メディアの最上階層)に直接保存された楽曲、次にルートフォルダ内に最初に作られたフォルダ内の楽曲、その下層のフォルダ内の楽曲、その次にルートフォルダ内に2番目に作られたフォルダ内の楽曲、その下層のフォルダ内の楽曲...という順番になります。



## 本製品と FM ラジオの設定

- 本製品の周波数ボタンの「CH+」または「CH-」を押すと周波数設定画面に移行し、使用する周波数を設定してください。その際、ご使用になる地域のFM局との干渉を避ける為、既存のFM局の周波数より±0.2MHz以上離れた周波数を設定してください。
- ※約2秒間操作がないと元の画面に戻ります。
- ※本製品の送信周波数は、76.0MHzから108.0MHzの間で、0.1MHz刻みで321chから設定可能です。
- 周波数設定画面の間「CH+」または「CH-」の長押しまたはダイヤルボタンを回して周波数を変更し、カーオーディオ側で設定した周波数に合わせます。
- ※カーオーディオで使用する受信チャンネルを登録しておけば、次回以降使用する際に便利です。
- カーオーディオの音量を最小限にした後、接続した機器の音量を最大限にしてから、接続した機器で音楽を再生してください。
- カーオーディオのボリュームを調整して、最適な音量でご使用ください。
- ※本製品は電波で音声を飛ばしますので、ご使用になる機器・お車・環境等により、実際の音源とは若干音質が変わる場合があります。必要に応じてカーステレオの音質を調整してください。
- ※ノイズが入りにくいFM周波数を探して設定してください。ノイズが入りにくい周波数はお住まいの地域や時間帯などにより異なります。



## microSDカードの接続

### 【microSDを挿し込む】

- ①音楽データの入ったmicroSDカードをmicroSDカードスロットに「カチッ」とロックがかかるまで挿し込んでください。
  - ②microSDカードの読み込みに成功すると自動的に音楽再生が開始されます。
- ※microSDカードには、対応する音楽ファイル以外のデータは入れないでください。
  - ※microSDカードとUSBメモリの同時使用はできません。
  - ※Bluetoothで機器を接続して音楽再生開始した場合、Bluetooth接続が優先されます。

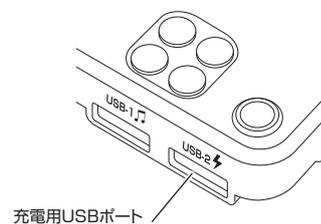
### 【microSDの取り出し】

- microSDを奥まで押すとロックが外れて少し出ますので、その後、抜いてください。



## 充電用USBポートを使用する

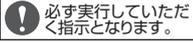
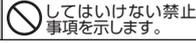
- お手持ちのUSBケーブルをお使いいただき、充電用USBポート(USB-2)から接続機器を充電することができます。
- ※接続機器を充電しながらFMトランスミッター機能を使用すると、ノイズが入る場合があります。
- ※USBポート(USB-1)は音楽再生用になります。充電には使用しないでください。



## 取り扱い上の注意

- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。
- 警告・注意に従われない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話機も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。



**警告** ここに記載された事項を無視してお使いになると、使用者が死亡または障害を負ったり、物的損害を被る危険性があります。

●車を運転中での本製品並びに接続機器の操作は絶対にお止めください。運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の連続的な操作、取扱い、USBプラグの抜き挿しも運転操作の妨げになりますのでやめてください。本製品のいかなる操作も、お車を安全な場所に駐車してからおこなってください。

●本製品を濡らさないでください。また、濡れた手でさわらないでください。水分にさらされたり内部に水が侵入したままご使用になると、故障や火災、発熱、感電、けがなどの原因となります。また、本体、特に端子やポート内が濡れた場合は、乾いた布で水を拭き取り、よく乾燥させてからご使用ください。

●分解、改造、後加工、乱暴な扱いをしないでください。火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、ケーブルをきつく結ぶなどの行為は故障、事故の原因になるので、絶対にやめてください。

●小さなお子様(乳幼児)やペットなどに与えたり、接触できる場所に放置しないでください。小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。

●電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従って電源への接続をお切りください。

●本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。

**注意** ここに記載された事項を無視してお使いになると、けがをしたり、物的損害を被る危険性があります。

●お車のエアバッグ拡張範囲に本製品や付属品を放置、保管しないでください。エアバッグ作動時に影響が出たり、事故、けがの原因になります。

●本製品の使用温度は0~40℃、保管温度は-20~60℃です。それ以外の環境でのご使用、保管はお止めください。製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

●クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。傷がついたり、表面の印刷がはがれるおそれがあります。汚れが付着した場合は、乾いた布でお拭きください。

●各プラグを抜く際は、必ず水平にゆっくりと引き抜いてください。回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。

## 困った時は・・・

- 故障かな?と思ったときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

### 以下のような症状で使用できない場合の対処法

- 携帯電話で検索(サーチ)しても本機の機種名「BTF110」が表示されない
- ペアリングは完了したが接続できていない
- ペアリング済みの携帯電話が再接続(自動再接続)できない
- ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない

このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。対処方法として下記の操作をお試しください。

- ①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。
- ②本機の電源プラグを抜いて、再度挿し込んでください。

上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから本機の機種名「BTF110」を削除し、再度ペアリングしてください。それでも解消しない場合は、接続機器のリセット(ネットワーク設定の初期化)をお試しください。

## 製品に付属の取扱説明書A

および接続する機器の取扱説明書もご確認ください

## トラブルシューティング

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	電源プラグが正しく挿し込まれているかご確認ください。
ペアリングモードにならない ペアリングができない	他の機器が接続済みになっていないかご確認ください。 周りの電波が強い場所では正常に接続できない場合があります。別の場所で再度お試しください。 携帯電話が不適合機種である可能性があります。適合表とペアリング手順をもう一度ご確認ください。可能であれば他の携帯電話等でも一度ペアリングをお試しください。
パスキー(PIN)がわからない	本製品のパスキーは「0000(ゼロを4つ)」です。
ペアリング成功後に電源を再投入すると自動接続されない	携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
携帯電話との接続(リンク)切断後、通信範囲内に戻っても自動接続されない	本製品をペアリング後、長期間使用していなかった場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を選択し、手動で再接続してください(※ペアリングではありません)。
USBメモリを認識しない、再生できない	使用するUSBポートを充電専用(USB-2)と間違えていないかご確認ください。 USBメモリの仕様が適合しているかどうかご確認ください。 保存している音楽ファイルの形式が非対応でないかご確認ください。
microSDカードを認識しない、再生できない	microSDカードを正しく挿入できているかご確認ください。 microSDカードの仕様が適合しているかどうかご確認ください。 保存している音楽ファイルの形式が非対応でないかご確認ください。
音が聞こえない	FMTランスミッターとしてご使用の場合、本機とカーラジオの周波数設定が一致しているかどうかご確認ください。 音量は本機(および本機と連動している携帯電話)と、カーオーディオの双方で調整してください。いずれかの音量設定レベルが小さいと音が聞こえにくい場合があります。 携帯電話とペアリング及び接続ができていない可能性があります。ペアリング及び接続が正常に行われているか、確認してください。 携帯電話機がSCMS-T対応かどうかご確認ください。携帯電話機が対応していない場合、テレビ(ワンセグ/フルセグ)放送の音声は聞けません。 ハンズフリーの他に、A2DPもしくはオーディオでの接続がされているかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
LINEや動画サイトの音声が聞こえない	携帯電話機で試験可能なLINEや動画サイトの音声データは、APPやソフトウェアのインストールが完了しているため、今まで使えたものがアップデートにより聞こえなくなったり、操作ができなくなる場合があります。
ノイズが聞こえる音がとぎれる	FMTランスミッターとして使用している場合、外部の電波の影響を受けやすいため、周波数設定や走行環境によっては音質・通話品質が落ちる場合があります。 本機の近くで他の電子機器、充電器などを使用している場合、ノイズを拾う可能性があります。 携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。また他の無線機器と接触している場合や、携帯電話の電波が混線しやすい環境下、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質は落ちます。 携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎているか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電気機器などがないか確認してください。 携帯電話をスポンの後ろポケットやバッグ類に収納している場合など、携帯電話と本製品本体との間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。 自動ドアや電子レンジ、2.4GHz帯周囲の電波を発信する機材が近くにいたり、工業設備、アンテナ施設などが近くで稼働している場合は、電波の干渉を受け、音が飛んだりする場合があります。
通話、受信ができない	携帯電話のBluetooth機能がオフになっていませんか? HFP(ハンズフリープロファイル)で接続がされているか、携帯電話機の設定画面をご確認ください。 一部の携帯電話機では着信時に携帯電話機側で受話を選択すると、自動でBluetooth機器とつながるため設定になっている場合があります。携帯電話機側の設定、取扱説明書をご確認の上、ハンズフリーの設定にしてください。 着信中にダイヤルボタンを長押ししてしまうと着信拒否になってしまいます。通話を受けるには短く1回押すようにしてください。
本機の操作で発信ダイヤルできない	本機で可能な発信機能は、ラストナンバーリダイヤル(一番最後に発信した番号へのリダイヤル)のみとなります※ダイヤルボタンを2回押すと自動発信。
リダイヤルできない	HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、本機からのリダイヤルはできません。携帯電話の発信履歴などから通常操作してダイヤルしてください。 HSP(ヘッドセットプロファイル)で接続している可能性があります。
使用中に電源が切れる	電源プラグが緩んでいないか確認してください。

### 発売元

株式会社 **セイワ** 〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地

セイワホームページのご案内(下のQRコードでもOK)

適合情報、ペアリング手順、新製品情報などが掲載されており  
ますので、インターネットをご利用の方はぜひご覧ください。

<https://www.seiwa-c.co.jp>



お客様サポートセンター(裏面記載のトラブルシューティングで解決できないとき)

お客様サポートセンター… **0570(039)710**

受付時間/AM10:00~PM5:30月曜日~金曜日(祝日休業)

〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1